

入選

田畠 鈴琉(たばた りる) 恩方第二小 5年生

作品名: 犯罪を無くすために

図書: パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々<最後の神>

パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々という話は、神と人間の間にも生まれた子、パーシー・アナベス・グローバーが、神クロノスと神と人間の間にも生まれたルークから、オリンポスを救う話である。幼い頃、ルークは神の父に見捨てられたと思って家出をした。その時から、ルークは神々が嫌いになった。その後、タレイアとアナベスと出会った。タレイアもアナベスも神の親に嫌われて家出をしていた。ルークは、二人と家族となり、おたがいに裏切らない事を約束した。しかし、その約束を破って、クロノスと共にオリンポスを破壊しようとする。そして、ルークはアナベスと戦うことになるのだ。私が、一番心に残った場面は、ルークが良心を取り戻す場面だ。ルークは、戦っている最中、アナベスの

「家族でしょ、ルーク。約束してくれたでしょ。」

という言葉で、良心を取り戻す。そして、自らの命を犠牲にしてクロノスがオリンポスを破壊することを防いだ。私は、とても悲しかった。最後に良心を取り戻し、オリンポスを救ったのに死ななければならないなんて。ルークは、オリンポスを破壊しようとしたが、それは、神である父との悲しい思い出が原因だったからだ。

私は、思った。ニュースでよく聞く犯罪者たちの中には、過去につらい思い出があるから罪を犯してしまったのではないかと。例えば、昔仲間からいじめられ死にそうになったことがある人がいて、うらみをもったとする。そして、大人になった時、いじめた相手からお金をぬすんだ。ということがあったらみなさんはどう思うであろう。やっぱり、そんなことはいけないと思うだろうか。しかし、考えてほしい。本当にその人だけがいけないのだろうか。私は、その人だけがいけないとは思わない。もし、いじめられなかったら、そんなことをしただろうか。誰かに相談にのってもらっていたら、仕返しなんかしないですんだのではないかと。確かに、お金をぬすんだら、犯罪者だ。しかし、犯罪に変えてしまった人たちに、罪は全く無いのだろうか。私は、学んだ。何か悪いことをしたのには、理由がある。過去につ

らい思いをして、それを解消出来なかった。そういう人もいるだろう。私が言いたいのは、悪いことをしたから悪いやつだ、なんて決めつけないでほしいということだ。その人は、その人なりの理由がある。もし、本当に多くの犯罪を減らしたいのであれば、私は大きな問題から対応するのではなく、小さな問題から対応すべきだと思う。何か悪いことをしてしまう前に、周りの人の変化に気付くことが必要だ。例えば、いつもより口数が少なかった時やイライラしている時などだ。その時に、理由を聞き、相談にのってあげられたら、問題が大きくなる前に解決できるだろう。こうした努力を、みんなでおこなえば、犯罪を無くせると私はこの本から学んだ。